



# よしだ 議会だより



## 第70号

### 吉田町議会

〒421-0395  
静岡県榛原郡吉田町住吉87  
TEL:0548-33-2141  
平成25年8月発行  
責任者 議長 八木 栄

新議会構成決まる	P 2
臨時会、定例会の審議	P 4
第6回議会報告会	P 7
一般質問 5人が町政を問う	P 10
委員会報告	P 15

# 新議会構成決まる



行動する議会運営を  
実行

議長 八木 栄

5月21日の臨時会において、選挙の結果、議長に就任いたしました。

町当局との対話を増やし二元代表制の一翼を担う議会として、町民の皆さんの利益を最優先とし、十分な審議を行ってまいります。中立・公平の立場での議会運営はもとより、町当局とは、「一歩離れて二歩離れず」の関係を保持し、町民の皆さんの目線に立ち、これまで以上に議会改革を推進し、行動する議会の円滑なる運営を実行してまいります。



新たな形へ

副議長 藤田 和寿

現在、過去最大規模の予算で津波防災まちづくりを進めており、議会は、二元代表制の一翼を担う議事機関として、意思決定する責務が増しています。まちづくりの方向やビジョンを明確にする情報発信を行い、町民の皆さんの「おもい」を確認し、まちの施策にいかに関わっています。議会も行政と共にスピード感を持って行動するため、議員各位と議会改革を実行し、議会力を向上させる所存でございます。

## 委員会

### 総務文教常任委員会

委員長 吉永 満榮

副委員長 三輪 正邦

委員 増田 剛士  
枝村 和秋  
大塚 邦子  
河原崎昇司  
八木 栄

### 産業建設常任委員会

委員長 山内 均

副委員長 杉本 幸正

委員 平野 積  
佐藤 正司  
増田 宏胤  
藤田 和寿  
八木 栄

### 議会運営委員会

委員長 平野 積

副委員長 増田 剛士

委員 山内 均  
吉永 満榮  
増田 宏胤  
藤田 和寿

## 特別委員会

### 議会改革特別委員会

委員長 藤田 和寿

副委員長 大塚 邦子

委員 増田 剛士  
杉本 幸正  
山内 均  
平野 積  
三輪 正邦  
枝村 和秋  
佐藤 正司  
吉永 満榮  
増田 宏胤  
河原崎昇司  
八木 栄

### 議会広報推進特別委員会

委員長 増田 剛士

副委員長 平野 積

委員 山内 均  
枝村 和秋  
大塚 邦子  
藤田 和寿

## 議会の役割

### 基本的な役割

- ・町の予算・決算、条例および重要な契約などの審議と議決。
- ・町の執行について監視。

## 議会の構成

町議会には、条例に基づき総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、議会運営委員会が設置されています。

また、議会改革特別委員会に加え、新たに議会広報推進特別委員会が設置されました。



5月21日に開催された臨時会において、正副議長選挙を行った。各議員の投票と理由は次のとおりである。

## 議長選挙

八木 栄 7票

増田剛士議員  
前期2年間の議長としての職において、議会と町当局との調整がとれ、後期も任せられると判断した。

三輪正邦議員  
議員、行政の声をしっかりと受け止め、公平・公正な議会運営をなされた。前期に引き続き今期も期待した。

吉永満榮議員  
津波防災・安全安心なまちづくりに、町当局と良好な関係を保ち、議会の存在と役割を果たすことを期待した。

大塚邦子議員  
議員経験年数と議会内の意見調整力を判断して決めた。

増田宏胤議員

議員として経験豊富で議会の活動に精通している。代表者として識見・信念をもつて行動し、実行力を認める。

河原崎昇司議員

議会の代表として、中立、公平な議会運営を進めた。議会改革に取り組む姿勢も期待し適任とした。

八木 栄議員

前期2年間の議長経験を生かし、中立・公平な立場を保持し、これまで以上に行動する議会運営を実行する。

藤田 和寿 5票

杉本幸正議員  
人心を一新して議会活動に邁進するため。

山内 均議員  
前期・後期で議長が交替し一度立ち止まることは合理的である。議論を深め、議会改革を進めることを期待する。

平野 積議員

議会改革に対する議員の意識改革を議長として積極的に推進するリーダーシップに期待した。

枝村和秋議員

前期2年、副議長、議会改革特別委員長としての実績と、議会運営に対する思いに期待した。

藤田和寿議員

町が大きく変わる今、能動的に行動する議会へ変革し、議事機能を向上することを決意。

佐藤 正司 1票

佐藤正司議員  
議会が役目を果たし、

町民、町当局、議会が話し合い、住みよい町になるような議会運営を目指す。

## 副議長選挙

藤田 和寿 8票

増田剛士議員  
議会改革の旗頭として議会を牽引していただいており、後期も議長とタッグを組み推進められると判断した。

杉本幸正議員

議長候補の補佐役、また、議会内のとりまとめ役として最適任者のため。

山内 均議員

前期の経験を生かして、行動力を発揮し、中立で公平な立場での議会改革を期待する。

平野 積議員

前期と同じ正副議長の陣容になるが、2年間の副議長としての実績を評価して投票した。

枝村和秋議員  
副議長の経験プラス各委員長を歴任され、議長のもとで議会運営の補佐をしていただくことに期待した。

増田宏胤議員

前期、副議長として職務を行い高い見識を示され、実力を発揮された。素晴らしい資質を認め今後を期待する。

藤田和寿議員

議長と車の両輪として明確な方向性を出し、円滑な議会運営と議会の活性化を行うことを決意。

八木 栄議員

副議長としての職務をしっかりと遂行していただいた。議長を補佐する立場に最適任者であると認める。

佐藤 正司 5票

三輪正邦議員  
陽のあたりにくい所へもしっかり対応されている。行政との対応に期待した。

佐藤正司議員

議長を補佐し、議会運営をスムーズに進めて、「住みやすい町」にするため。

吉永満榮議員

住民の視点・目線・立場に立って議論し、住民代表の議員として正当性を持った判断や姿勢を評価した。

大塚邦子議員

議員経験年数と浜岡原発廃炉決議の取り組みを前進させるため決めた。

河原崎昇司議員

議長を補佐し、議会改革を進め、是々非々の立場で議論が出来る議会運営に期待した。



# タワー工事契約可決

## 6基は予定の3分の2の工事契約

5月21日と31日に臨時会を開催し、津波避難タワー設置工事およびすみれ保育園建設工事の契約7件を可決した。

6月3日から18日まで6月定例会を開催し、一般会計補正予算1件、町道の路線廃止1件、町道の路線認定1件、津波避難タワー設置工事および住吉小学校校舎補強工事の契約7件を可決した。

### 津波避難タワー

#### 関連質疑

**問** 上程された6基の津波避難タワー設置工事は予定の3分の2の工事である。この事態に至った経緯は。

**答** ①予算の変遷

津波避難タワーの設置基準がない中で、国の補助を得るためには都市防災総合推進事業の事業費を計上しなければならぬ状況になった。そこで、ほかのタワーの建設事例などから1基あたり15億円の概算を出した。しかし、設置基準を定めてK、L、O工区を発注した結果、1基あたり3.2億円となり、計画を見直した。

②約9億円の予算不足  
国の更なる補助を得るために1基あたり3.2億円で事業費を計上して国の補助が得られた。しかし、9基の契約が完了した時点で予算不足が判明した。

**問** 予算と実際にかかる費用の差が約2割は極めて大きい。最初に契約した内陸部に作る避難タワー3基に比べ、海や川に近い所に作る避難タワーは当たる波が強いために費用が掛かることは設置基準を定めた時点で分かっていたはずである。すべての積算はできなくても、より精度を上げた予算申請ができたのではないか。

予算と実際にかかる費用の差が約2割は極めて大きい。最初に契約した内陸部に作る避難タワー3基に比べ、海や川に近い所に作る避難タワーは当たる波が強いために費用が掛かることは設置基準を定めた時点で分かっていたはずである。すべての積算はできなくても、より精度を上げた予算申請ができたのではないか。

**答** その指摘は痛感している。今回は技術的精査も十分ではなかった。しかし、緊急事業費を出し、申請したことによって24年度の国の補正を得られたことも理解してほしい。今後はできるだけ正確な見積もりで予算措置して、いろいろな補助の制度を活用していく。

**問** 不足分の財源の計画は。

**答** 可能性が高いのは9月に補正を計上することである。その財源として考えなければならぬのが、国の財源をどうやって手当てできるかである。国からの補助は得られると思っているが、現段階では25年度での措置はない。25年度は町の借金で手当てすることになる。借金の仕方については、有利な条件を検討していく。

**問** 工事が遅れた場合の業者へのペナルティは考えているか。

**答** 3月末の完成が絶対条件である。よって、遅れることはあってはならないが、万が一遅れが起こった時は何らかのことを考えていかなければならないと思っている。

**問** 津波避難タワー建設による地元への経済波及を考えると、落札業者に地元業者を利用するようにとの指導はしているか。

**答** 津波避難タワー建設による地元への経済波及を考えると、落札業者に地元業者を利用するようにとの指導はしている。

**答** どこでも調達できるものは吉田町で調達を、また、地元の業者の活用もお願いしている。

**問** 工事による微振動で家のひずみなどが発生した場合、その責任はどこが負う。

**答** 工事現場の近隣は事前調査する。工事後再調査し、何か不具合が生じていれば基本的には町が補償する。ただし、工事の施工が悪い場合は業者負担となる。



工事中の津波避難タワー（L工区）

# 全ての津波避難

## ただし 約9億円の予算不足

**答** 町としては通学路の変更を考えているが、まだ学校との交渉はしていない。

**問** R工区は道路も敷地も狭いため、重機を道路に設置して工事を行うが、小学校の通学路に指定されており、工事中は通学路を変えるのか。

**答** 近隣の農地の耕作者が掛からないように工事を進める。

**問** M工区は地下に固い石があるために、杭打ちの工法をほかとは変えているが、近隣の方に迷惑が掛かることはないか。

**答** 内々に承諾を得た後、事前に起工承諾をいただいている。

**問** 地主の方にとっては貴重な財産を譲ってくれるのだから、丁重な取り扱いをお願いしたいが、買収は円滑に進んでいるか。

### 6月定例会前に契約した津波避難タワー

No.	工区	収容人数	予定価格 (億円)	落札価格× 消費税 (億円)	落札率	落札業者
1	A	500	3.738	3.623	96.9%	株式会社橋本組
2	B	500	2.940	2.835	96.4%	角丸建設株式会社
3	E	900	5.019	4.725	94.1%	静和工業株式会社西部営業所
4	F	500	2.604	2.541	97.6%	株式会社グロージオ
5	H	800	3.560	3.413	95.9%	平井工業株式会社
6	J	800	3.822	3.675	96.2%	木内建設株式会社
7	K	1,200	4.568	4.494	98.4%	株式会社橋本組
8	L	800	3.234	3.171	98.1%	株式会社山田組
9	O	800	3.045	3.024	99.3%	大石建設株式会社
合計		6,800	32.529	31.500	96.8%	

予算額：50.93億円

契約済の避難タワー費用：  
31.5億円

残りの予算額：  
19.43億円

9.17億円の  
予算不足発生

判明した総工事費：  
60.1億円

契約済の避難タワー費用：  
31.5億円

残り6基の予定価格：  
28.6億円

↓ 予算内発注 → 約2/3の工事

6月定例会までに可決  
した工事費：48.82億円

契約済の避難タワー費用：  
31.5億円

今回の工事費：  
17.32億円

### 6月定例会で可決した津波避難タワー（予算内発注、約2/3の工事）

No.	工区	収容人数	予定価格 (億円)	落札価格× 消費税 (億円)	落札率	落札業者
10	C	1,100	5.082	4.515	88.8%	株式会社橋本組
11	D	900	2.930	2.657	90.7%	株式会社山田組
12	G	700	2.394	2.237	93.4%	五光建設株式会社
13	M	1,000	3.234	2.867	88.6%	鈴与建設株式会社藤枝営業所
14	P	1,300	3.917	3.728	95.2%	須山建設株式会社東遠支店
15	R	800	1.470	1.313	89.3%	株式会社エコワーク
合計		5,800	19.026	17.315	91.0%	

**すみれ保育園建設工事  
(本体工事) 請負契約**

金額8億8725万円  
相手方 角丸建設㈱

**問** 本体工事ができる準備は整っているか。

**答** 建築確認許可申請は7月末に終わるので、年度内に完成できると判断している。

**問** 発達支援施設、防災施設が入っているが、財源配分の割合は。

**答** 防災施設は国庫補助金を充てる。発達支援施設分は、町費となる。

**問** 避難所としての発電機、水などを用意しているか。

**答** 施設は防災機能備えているが、あくまでも保育園として運営する。

**平成25年度補正予算  
(第1号)**

治水対策、地域の魅力情報発信事業委託などに2401万5千円を増額する。

**問** 豪雨への対応は。どのような想定での予算計上か。

**答** 8インチポンプ3基と発電機1基を借り上げ、迅速に対応するための予算である。

**問** 日ごろの備えとして、借り上げの対応は。

**答** 業者との打ち合わせをしており、すぐに対応できる。

**問** 排水ポンプは足りなくなったら、増やすことを考えているか。

**答** 今回は試験的でもあるので、運用について今後検討していく。

**問** しゅんせつ場所は。

**答** 宮裏川、問屋川に合流する大幡川である。



問屋川

**問** 地域の魅力情報発信事業委託で収集した情報の発信先は。

**答** 大井川流域smileネット事業の一環。今のところ域内を中心に考えている。

**問** 具体的にどのような調査をするのか。

**答** 外から見た吉田町の魅力をストックするための調査を行う。

**問** 調査能力のある人材は確保できるのか。

**答** 起業支援が目的。FM島田は5年目で、その対象として合致しており、潜在的人材をストックしている。と聞いている。

**問** 雇用するのは誰か。

**答** 雇用者は当町である。

**町道の路線廃止**

・本田線(川尻字京田ほか)

・横手1号線(川尻字高畑)

**問** 町道廃止に伴う内部的処理は。

**答** 道路用地は行政財産。道路法第10条第2項に基づき、議会の承認を得て行う。

**町道の路線認定**

・本田線(川尻字京田ほか)

・横手1号線(川尻字高畑ほか)

・本田2号線(川尻字京田ほか)

・平島8号線(川尻字東河原)

・西中瀬8号線(片岡字西中瀬)

**問** 本田線、本田2号線を新たに認定するに伴い、三角状の残地が発生するが、どのような形になるのか。

**答** そのまま官地として残る。行政財産であり、道路の一部になる。



本田2号線

**住吉小学校校舎補強  
工事請負契約**

金額1億5225万円  
相手方大河原建設(株)

**問** 落札業者は、耐震工事の実績があるか。

**答** 過去に耐震補強工事の実績があることを確認している。



耐震補強する住吉小学校A棟



# 第6回議会報告会

5月18日から22日までに5回開催

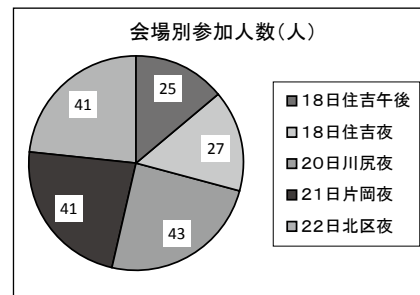
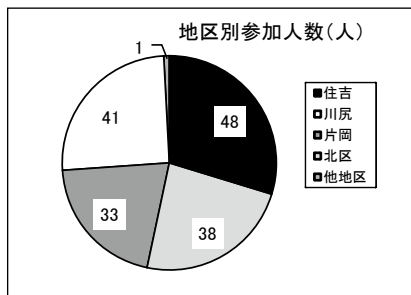
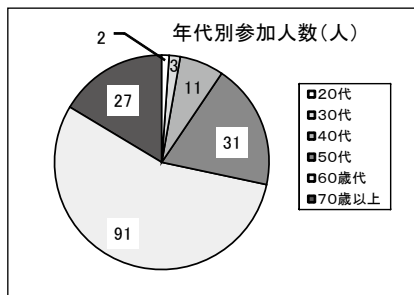
4会場に延べ177人が参加



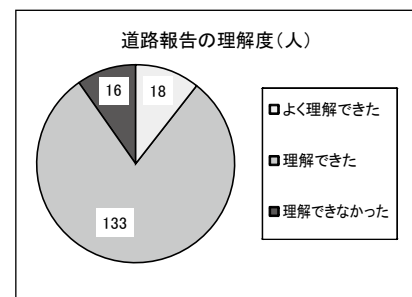
片岡会館

議会は、町民の皆さんに議会活動を知ってもらうため、毎年2回予算および決算審議のあと、タイムリーな話題を加えて議会報告会を開催している。

今回は、新しいスタイル（グループごとに車座）で活発な意見交換を実施した。また、町内の女性団体の皆さんの協力をいただき盛会に開催できた。



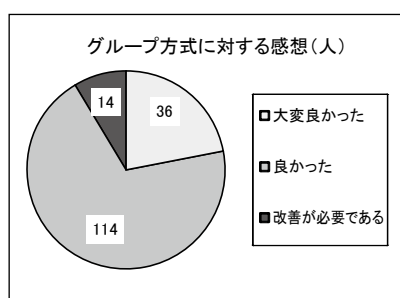
参加者



参加者アンケート抜粋

(防災)

- 津波火災対策は検討しているか。
- 太平橋を中心に東西約3キロメートルに及ぶ朝夕の大渋滞、川尻地内渋滞は約1キロメートルである。津波発生時のパニックが想定されるが、抜け道はどこか。生活道路へ車が進入してくる対策は。



(コメント)

- 幹線道路優先で生活道路が犠牲になっている。地元の見解を十分に聞いてほしい。
- 新しい道路で事故が多くなっている。早く信号機を設置してほしい。
- (まちづくり)
- 今後のビジョン、成長計画を示してほしい。(人口減、災害増加への対応)
- 国と町の仕事関係が分った。
- 「地域の元氣臨時交付金」については理解できた。
- (道路関係)
- 今後のビジョン、成長計画を示してほしい。(人口減、災害増加への対応)
- 小グループの形式は賛成。多数の前では発言しにくい。
- 住民の顔が見える報告会は大変意義がある。
- たくさんさんの意見が聞けて良かった。

# 今回の報告会の内容は？

## 1. 町の予算について

## 2. 道路整備について

## 3. 意見交換と発表

**問** すみれ保育園で予定されている発達支援の受け入れとはどのようなことか。

**答** 言葉の発達の遅れが心配な子どもは、牧之原市にあるつくしの家に通って支援を受けている。今後はすみれ保育園で支援が受けられるようになる。

### 予算報告への質疑



住吉会館

**問** 住吉小学校の耐震補強工事内容と時期は。

**答** 国の耐震基準は満たしているが、校舎の一部が県の耐震基準を満たしていないために補強する。工事は、学校の休み（土日や長期休暇中）に行い、安全を確保する。

**問** 何の自動交付機を設置するのか。

**答** 交付内容は印鑑証明、住民票の謄本・抄本、戸籍謄本・抄本、附票などが利用できる。また、利用時間は8時15分から21時までを予定している。

**問** 避難タワー1基の建設費が上がったのはなぜか。

**答** 全国で例がないため、技術検討会が設けられ検討された。その結果、国の避難タワーの標準仕様設計基準ができ、当初の見積金額より増額となった。

**問** 災害時の避難勧告を出すタイミングについて吉田町の伝達は。

**答** 町民への避難勧告は、町長が災害状況などを考慮し判断を行い、発信する権限を持っている。

### 予算報告への意見

- ・第1分団消防団詰所の建設。地盤・津波に大丈夫か。南過ぎないか。
- ・子ども医療費（インフルエンザ）補助金はどうか。
- ・内陸のフロンティア構想に関連し沿岸部に所在する町として「防災減災・地域成長モデル総合特区」を目指す内容を知りたい。
- ・地震があったら、子どもや生徒の迎えは道路の危険箇所や渋滞で困難になるので、学校で預かってほしい。また、各学校に避難用の備蓄物資も必要では。
- ・教育面におけるボランティアによる読み聞かせの大切さと図書司書を減員しないよう求める。
- ・すみれ保育園の施設整備とともにソフト面の充実を求める。

### 道路報告への意見

- ・幹線道路の交差点で、信号機がないため、事故が続いて起きている。道路をつくると同時に、信号機、横断歩道をつけほしい。
- ・東名川尻線の路線整備について、中央分離帯の再考を。
- ・新しい道路が高く、道路に溢れた雨が低地に入り被害が出ている。
- ・住吉地域には、優先道路があり緊急時には事故が多発することが心配である。
- ・住吉地域は、南北の道路が狭くすれ違いができない。防災まちづくりで、安心な道路になるように働き掛けを。
- ・生活道路である町道の拡幅は、道路の両側に後退して広げるのか。



# 会場ごとに4グループで意見交換 20グループからさまざまな意見をいただく



片岡会館



住吉会館

グループによる意見交換会では、議員が座長と書記になり、皆さんの意見をまとめ最後に発表しました。

## 意見交換

### （大雨対策）

- ・ 4月6日の大雨で、浸水地域の排水に問題箇所が多く強化なポンプアップも必要。特に森下地区はゴムボートも必要で設置要望もある。土のうや通行止め用のバリケードが必要。
- ・ 牧之原市は大雨避難勧告を出したが、当町は出さなかった。大雨時（注意報・警報など）における町の指導、指示を適切に行ってほしい。

### （津波対策）

- ・ 地域の避難路の問題で、高齢者のことを考えてどのように進めていくのか。
- ・ 能満寺山への避難道と街路灯の整備を。
- ・ 旅行者に知らせるため、海拔表示は、国道150号位までほしい。
- ・ 防潮堤の早期かさ上げは。

### （防災教育）

- ・ 災害時の協力、助け合いが大事と思う。
- ・ 隣組単位で防災勉強会を行うなどして防災意識を高める必要があるのではないかと。
- ・ 避難施設の確認を家族一緒に考えたい。

### （原子力災害）

- ・ 浜岡原発について大変不安に思っている。大事故が起きては困る。町としての原子力に対する対応、対策はないか。
- ・ 原発放射能災害時、疎開の必要があり、立地条件が類似した市町と協定を結んだらどうか。

### （問い合わせ）

- ・ 交通安全対策は、自治会、学校、町、警察、どこに言っているか。
- ・ 町で使われなくなった道路、三角地帯はどうするのか。
- ・ 榛南ゴルフ場に向かう吉田たんぼ内の道

路の交通規制はできないか。

### （要望）

- ・ 夜のジョギング者が多いので西の宮公園の樹木の管理と防犯灯の整備を要望する。
- ・ 中央小学校の耐震について心配がある。対策を要望する。
- ・ すみれ保育園の跡地の活用はどうなのか。有効利用を要望する。
- ・ はばたき橋の完成によって周辺道路整備をお願いする。
- ・ 計画されている北区防災公園には芝生を希望する。
- ・ 側溝の蓋なしが多い。予算を確保し、設置してほしい。
- ・ 小藤路公園の池に、子どもが落ちたことがあるので防護柵を設置してほしい。
- ・ 犯罪パトロールに力を注いでほしい。



北区自彊館



川尻会館

多くの方からいただきましたご意見を今後の議会活動に生かしていきます。ありがとうございました。



# 町政を問う

大塚 邦子 議員

## 問 教育行政の目標は

答 『確かな学力の育成』と『生涯にわたって楽しく学ぶ環境づくり』を実現する

**問** 不登校問題への対応策は。

**答** 不登校問題への対応策は、止と早期発見に取り組むため、「いじめに関する調査」、いじめの起こらない学校環境づくりや心づくりのため、「心の教育の充実」、円滑に解決を図るため「体制の整備」に取り組む。また、「吉田町いじめ対応マニュアル」を本年度中に策定する。

**問** 児童生徒のいじめへの対応策は。

**答** 課題は二つ、「育てたい人間像の明確化」と「学校への指導・支援の充実」と考えている。

**問** 教育現場から見ると、たわが町の教育課題は何か。

本年4月1日付で就任された浅井教育長に、どのような考えのもとで、教育行政を執行されていくのか質問した。

**問** 特に力を入れて取り組みたいことは。

**答** 携・一貫教育を視野に入れた教育の推進に力を入れて取り組むたい。本教育は、9年間の学びを一体のものととらえ、一貫性のある継続的な指導を行うことができ、学力や体力の向上などの効果が期待できる。



吉田中学校あいさつ運動

**答** 教育相談員やスクールカウンセラーなどによる「指導方法の工夫改善」の取り組みや、定期的な家庭訪問、適応教室などの利用を促し、「学習機会の保障」を図っている。

**問** 条例整備に向けての課題は。

**答** 条例で定めることが法律上義務付けられている放課後児童健全育成事業の運営基準については、本年度中に国の考え方が示された段階で、適切に対処していく。

**問** 子ども・子育て会議の設置は。

**答** 「子ども・子育て会議」は、町が実施する施策を審議する機関なので、法律の主旨に沿って条例を整備していく。



自彊小学校区放課後児童クラブ

**問** 指導員の量的・質的確保策は。

**答** 町では、指導員に対して、県が行う研修には積極的に参加させるとともに独自に研修会を開催し、資質の向上に努めている。指導員の確保は、有資格者に働きかけ、入所児童の増加に対応していく。

**問** 放課後児童クラブの拡充は

**答** 指導員の資質向上に努める



# 町政を問う

佐藤 正司 議員

## 問 町の交通安全対策は

答

1、交通安全施設の効果的な整備 2、交通安全意識の高揚  
3、交通事故対策の充実 を柱に実施

問

建設中の新しい道路の一部利用が始まっているが道路の安全対策をどのように考えているか。

答

供用開始後に、数件の事故が発生している。路面標示など区画線の設置や、交差点のカラー舗装、注意看板の設置を実施し、供用開始後の交通事情にあわせて対応を行っている。

問

安全対策のために、県や警察にはどのような働きかけをしているか。

答

路線ごとに牧之原警察と交差点協議や必要に応じた打ち合わせを行う中で、各種の指導を受け、区画線や標識など安全対策を実施し、地元自治会との調整を行っている。

問

子どもが関わる事故が発生した箇所について、その後の対策は。

答

小学生が被害者となった事故現場の対策として、事故後牧之原警察署と県に対し事故防止対策の要望および協議を行った。事故があつた交差点の近くに、新たに横断歩道を設置し、自動車が速度を落とす路面表示などの対策を行った。

問

住民への交通安全教育の実施状況は。

答

園児、保護者を対象に「シートベルトコンビンサー体験教室」、小学生には、「交通安全リーダーと語る会」などを開催、成人にはDVDによる交通事故防止の啓発活動、高齢者には、各さわやかクラブへ伺い「交通安全出前講座」を実施していく。また、小学生の登下校時には、笑顔いっぱい運動と合わせて地域の皆さんやボランティア、さわやかクラブの方が自発的

に見守りや啓発活動されていて感謝している。

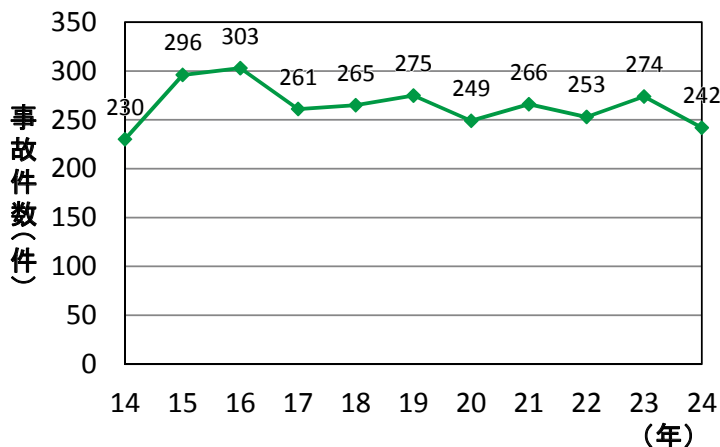
問

カーブミラーやカラー舗装が必要な箇所の調査、実施状況はどうか。

答

カーブミラーは、新設の道路の供用開始に合わせて必要な箇所に設置している。

吉田町内の交通事故の推移



\* 牧之原警察署しらべ

今年度は、緊急雇用創出事業を活用し、カーブミラーなどの「安全施設点検調査」を実施し、今年中にはまとめ。カラー舗装は中央幹線と町道西の宮線など実施した。





# 町政を問う

平 野

積 議員

## 問 町の防犯活動で何が不足していると考えるか

## 答 団体の代表は町の取り組みの成果に肯定的

### 吉田町第2期地域福祉計画（防犯活動の推進）

#### 【町の取り組み】

施策	内容
高齢者消費者被害防止のための見守りネットワーク	高齢者を狙った悪質な訪問販売事業者などによる消費者被害が増加していることを受け、日常の業務を通じて、高齢者の暮らしの変化や、被害の発見などに努め、高齢者消費者被害の拡大防止を図る。（後略）
防犯灯の整備	夜間の安全を確保するため、防犯灯の整備を行う。
防犯に関する意識の高揚	警察署・防犯協会と連携を図り、手口が巧妙化してきている振込詐欺や、悪徳商法に対応できる防犯対策を学ぶ。
青色防犯パトロール	青色回転灯装着車によるパトロールを実施し、地域の犯罪防止を図る。
ウォーキング・ボランティア	地域内ウォーキングをする際、パトロールを兼ねて散策することで、危険箇所、不審者などの発見に協力してもらい、地域の安全確保を図る。

#### 【住民・地域の取り組み】

- 日ごろから防犯意識を高めましょう。
- 向こう三軒両隣のつきあいを大切にしましょう。
- ウォーキングをする際は、パトロールを兼ねて散策しましょう。

答

自治体によって、ウォーキング・ボランティアを募集して、ウォーキングや犬の散歩時に帽子やジャケットを着用してもらったり、ボランティア保険までかけて、その人口を増やそうとしているところもある。吉田町ではそこまでの活用は考えないのか。

参考にする。

問

は、ウォーキングは、ウォーキング・ボランティアを募集して、ウォーキングや犬の散歩時に帽子やジャケットを着用してもらったり、ボランティア保険までかけて、その人口を増やそうとしているところもある。吉田町ではそこまでの活用は考えないのか。

答

自治体によって、ウォーキング・ボランティアを募集して、ウォーキングや犬の散歩時に帽子やジャケットを着用してもらったり、ボランティア保険までかけて、その人口を増やそうとしているところもある。吉田町ではそこまでの活用は考えないのか。

問

このボランティアは町が推進しようとしているのか、個人にお任せするのか。

ウォーキング・ボランティア



は。

問

防犯灯整備に関する町の基本方針

### 防犯灯の整備

本年3月に「吉田町第2期地域福祉計画」が策定された。その計画の目標に向かい、着実に進めているか「防犯活動の推進」を主たる題材として質問した。

答

各自治会に任せられている。

問

町として防犯灯の必要な箇所の調査を行い、安全の確保を行わないのか。

答

街路灯は町でみる、防犯灯は700万円の委託料を自治会に出し、管理をお任せしている。

答

自治会と相談しながら進める。

問

議会報告会で住民から防犯灯設置の要望が多く出た。防犯灯整備の要望は町内会を通して、自治会に出すことを住民の多くは知らない状況である。PRしてほしい。

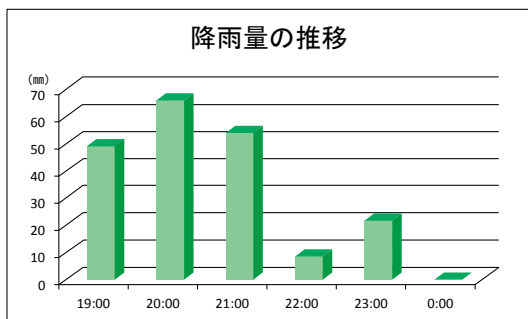


# 町政を問う

藤 田 和 寿 議員

## 問 4月6日豪雨を受け、今後の対応は

## 答 土のう・バリケードを増設、水中ポンプ(3基)で仮設排水



**問** 被害状況は。

**答** 幸いにも人的被害はなかったものの、住宅の被害は、床上浸水が5棟10世帯20人、床下浸水が52棟52世帯162人の皆さんが被害を受けた。

4月6日19時36分、吉田町に大雨・洪水・波浪警報が発令され、短時間に大雨が降り冠水や浸水による被害が発生した。町の対応を確認し、今後どのように生かし対応するかを質問した。

時 間	配 備 状 況
18:10	都市建設課水防警戒配備(20人)。町内パトロール開始。
18:30~19:10	住吉第4、第1排水機場、宮裏第3各ポンプを順次稼働。
19:54	情報収集配備体制(46人)。各所から道路冠水、床下浸水の情報入電。土のう配布・道路通行止めバリケード設置。
21:05	新田公会堂および川尻会館を避難所として開所。
21:10	災害対策本部設置(全職員148人)。状況確認と対応。

**問** 町に寄せられた要請内容と連絡内容などの対応マニュアルは。

**答** 土のうの要請が29件と、水路関係で8カ所から寄せられた。また、情報については、3階の防災課前にホワイトボードを設置し、付箋による表示や書き込みで一元管理した。

**問** どのように規制するのか。

**答** 緊急時であり、警察へ第一報後は、担当職員が現地状況で判断し、バリケードを設ける。

**問** 冠水した道路からの押し波による浸水被害があった。道路規制は。

**答** 道路冠水が著しく、通行車両のエンジンが停止し、通行できなくなってしまう恐れがある箇所は、緊急的に通行止めとするなどの対応を図った。



浸水へ備え畳上げ



宮裏川第3排水ポンプ

**問** 今回、被害の大きかった河川への対策は。

**答** 宮裏川や問屋川などのしゅんせつの実施と、大雨の緊急時に水中ポンプで仮設排水を実施する。

**問** 問屋川と稲荷川の治水対策は。

**答** 問屋川は、下水路事業を視野に検討を考えたことから、時期がずれ込んでいます。また、稲荷川は、整備計画の基となる現況調査の早期実現に向け努めています。



# 町政を問う

山内 均 議員

## 問 消防団詰所第3、第4分団の建設時期は

答 27年度の完成をめざす



第1分団詰所建設予定地

**問** 消防団第1分団詰所の建設地選定の基準は。

**答** 災害などの緊急時に機動力が発揮でき、安全性が確保できる場所である。基本的事項は、  
 ・交通の利便性  
 幹線道路や町道に面して、一定の道路幅員を有する。  
 ・スペースの確保  
 消防団員の車両、消防車両、ホースや機材の点検作業などを行う一定の空地を建設地または隣接地に確保できる。

**問** 第1分団詰所の建設予定場所の旧さくら保育園跡地は、津波や豪雨による冠水のリスクがある、対策は。



第2分団詰所建設予定地

**問** 町有地の活用  
 最小の経費により建設予定地を選定する。

**答** 先の豪雨でも消防ポンプ車が出動できた。予定する建物は2階建てであり、2階は津波ハザードマップによる浸水深より高くなるように計画している。



第3分団詰所

**問** 候補地選定には分団の方と懇談をしたと答弁があったが、分団の方とは誰か。

**答** 消防団の本部役員、団長、副団長、第1分団、第2分団の団長、副団長である。

**問** 若い団員は、詰所の床仕上げの仕様などいろいろ要望を持っている。実際にたずさわる人たちの意見を聞く方法とはとれないか。

**答** 団員を含めて意見を聞くよう検討する。

**問** 消防団員、町職員、自主防災会などの人たちの津波避難にはどのようなルールを決めているのか。



第4分団詰所

**答** 避難を最優先とし、自分の安全確保を図ったうえで、避難後に諸活動ができるものと考えている。

**問** 建設の優先順位および建設時期は。

**答** 第1分団、第2分団詰所は25年度末、第3分団、第4分団詰所は27年度末までの完成を目指す。



# 委員会報告

総務文教  
産業建設

すみれ保育園における子育て支援についての調査  
都市計画マスタープランにおける道路整備状況の調査

## 総務文教常任委員会

### 所管事務調査

町は、国の都市防災総合推進事業として「すみれ保育園建設事業」を進める。保育園には、救護室・倉庫また幼い子どもを擁護する保護者のための母子専用避難センターなどの防災機能を設置する。

6月6日（木）委員会調査事件を「すみれ保育園における今後の子育て支援について」に決定した。

保育園には、保育施設のほか発達支援室や病後児室が設置される。この施設の運営方法や町民への周知、また働く親が安心して利用できるように、活用方法を調査研究する。

委員長 吉永 満榮

## 産業建設常任委員会

### 所管事務調査

吉田町都市計画マスタープランにおける道路整備状況について調査し、課題を見つけ出して研究をする。

23年3月11日、東日本大震災という歴史的な出来事があった。その貴重な経験は、当町に住む住民の方々の要望として町の考え方や方向性・必然性を変えたはずである。

吉田町都市計画マスタープランを検証することにより、作成当時の理念と目的を再確認し、現在の道路整備状況とを比較検討する。同時に、計画（供給）する側と、利用（需要）をする側との考えの差異を見つけ出し、課題を抽出して、調査研究をする。

委員長 山内 均

## 議会広報特別委員会

### 〇調査結果報告

#### 調査事件

議会に意思や審査の状況を正確に分かりやすく、町民に伝える広報活動に関する調査・研究をした。

#### 調査結果

3度の研修と企画・編集時の議論で議会だよりに関し次に示す改善を図り、読みやすい議会広報誌にした。

#### （内容）

##### ①委員会報告

結果報告ではなく委員会の考え方、進め方を協議し、報告をした。

##### ②一般質問

問答を明確にし、読んでもらうための工夫をした。

##### ③政策追跡ルポ

議決後の状況や結果を追跡調査し、町民に報告をした。

##### ④選挙結果報告

議長・副議長選挙の投票理由を明記した。

##### ⑤見出し

明確にし、内容を知りたくなる工夫をした。（形式）

##### ①文体を統一した。

②用語、表現の正確性を図った。

③写真、表などの活用を図った。

#### （編集）

①編集スケジュールを基に行った。

②校正原稿の事前チェックを確実に行った。

## 委員会の結論

2年間の活動で「議会だより」は改善された。

議会広報は「議会だより」だけではない。新たな技術・手段を導入して、より多くの町民に議会を理解していただくため、本委員会は第69号の発行をもって終了する。今後は、新規の委員会に託すことに決定した。

委員長 吉永満榮



当委員会で発行した「議会だより」

# ますの話題



片岡地区バレーボール大会（総合体育館）



八幡津島神社夏季祭典（川尻）

## 議会を傍聴してみませんか？

第2回（6月）定例会の傍聴者数は延べ**58人**でした。ぜひ、傍聴にお出かけ下さい。

傍聴希望者は、当日、役場4階議会事務局で受け付けをしてください。

☎ 0548-33-2141

9月24日（火）	9月20日（金）	9月19日（木）	9月18日（水）	9月17日（火）	9月13日（金）	9月11日（水）	9月10日（火）	9月2日（月）
本会議	全員協議会	一般質問		委員会	委員会	連合審査会		本会議

次の第3回（9月）定例会の日程（予定）です。



障害者フライングディスク大会（はぁとふる）

あいさつ

議会広報推進特別委員会は、町民の皆さんに議会の動きを伝えるため、従来の「議会だより」の編集発行に加え、インターネットを利用した広報手段など多様な手段による独自性、速報性のある議会広報を目指すことを目的として今年度新設されました。

吉田町議会が、皆さんにとって身近な存在に感じられるよう努めてまいります。

委員長 増田 剛士

議会広報推進特別委員会

委員長 増田 剛士

副委員長 平野 積

委員 山内 均

委員 枝村 和秋

委員 大塚 邦子

委員 藤田 和寿